

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期歌志内市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道歌志内市

3 地域再生計画の区域

北海道歌志内市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、石炭産業とともに成長・発展を遂げ、1930年代後半から1950年にかけて人口が急増し、1948年の常住人口調査における46,171人をピークに1960年代前半までは3万人台を維持していた。しかし、1960年頃から世界的なエネルギー革命の影響を受け、本市の炭鉱も閉山が相次いだことによる離職に伴い、現在まで人口減少が続いており、住民基本台帳によると2025年4月時点では2,525人となっている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、人口減少はさらに進み、2050年には1,000人を下回り、838人になると推計されている。

年齢3区分別の人口動態をみると、生産年齢人口（15歳から64歳）は1960年代前半まで増加傾向にあったが、1960年代後半から減少に転じ、2020年には1,253人となっている。年少人口（0歳から14歳）は、長期的に減少傾向が続き、1990年には老年人口（65歳以上）を下回り、2020年には142人となった。一方、老年人口は、一貫して増加していたが、2005年からは減少に転じ、2020年には1,594人となっている。

自然動態については、出生数が減り続け、ほぼ一貫して死亡数が出生数を上回る「自然減」が続いており、2024年には▲60人となっている。

社会動態については、転入・転出ともに年による変動はあるものの、ほぼ一貫して転出超過（「社会減」）の傾向が続き、2024年には▲24人となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むと、労働力人口の減少による地域経済・地場産業の衰退や地域コミュニティ機能の低下による地域社会の崩壊等、様々な面に影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標に掲げ、以下の4つの基本目標をもとに取り組みを進めていく。

- ・基本目標1 歌志内ならではの魅力ある産業をつくり、雇用を確保する
- ・基本目標2 誰もが定住しやすい環境をつくる
- ・基本目標3 子どもを産み、育てやすい環境をつくる
- ・基本目標4 乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせるコンパクトなまち（コンパクトシティ）をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規創業・誘致数	2 社	7 社	基本目標 1
	観光入込客数	175,059人	350,000人	
イ	社会動態増減数	▲53人	▲39人	基本目標 2
	本市での住み心地満足度	24.7%	40.0%	
ウ	出生数	7 人	13人	基本目標 3
	子育て環境の満足度	就学前： 47.4% 小学生： 35.5%	就学前： 50% 小学生： 40%	
エ	小さな拠点施設の設置箇所	1 箇所	2 箇所	基本目標 4
	空き家件数	259件	200戸未満 (8%減)	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期歌志内市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 歌志内ならではの魅力ある産業をつくり、雇用を確保する事業

イ 誰もが定住しやすい環境をつくる事業

ウ 子どもを産み、育てやすい環境をつくる事業

エ 乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせるコンパクトなまち（コンパクトシティ）をつくる事業

② 事業の内容

ア 歌志内ならではの魅力ある産業をつくり、雇用を確保する事業

地域資源を活かした産業・雇用の創出、地域創生を担う人材・組織の育成を図る。

【具体的な事業】

- ・アウトドア関連産業の育成
- ・観光サービス産業の育成
- ・コミュニティビジネス等創業支援 等

イ 誰もが定住しやすい環境をつくる事業

移住促進策、居住環境対策、若者・子育て世帯の雇用環境整備を進める。

【具体的な事業】

- ・移住対策パッケージ化
- ・移住スタートアップ支援、移住促進経済支援
- ・地域おこし協力隊制度等の積極的活用
- ・居住ニーズに対応した公的住宅の提供
- ・民間賃貸住宅の充実
- ・住宅建設等助成制度の充実

- ・ 中小企業への支援強化
- ・ 若者・子育て世代のためのしごとづくり支援
- ・ 交流学生受け入れの対策
- ・ 地域人材の育成 等

ウ 子どもを産み、育てやすい環境をつくる事業

オンリーワンの子育て・教育の実現、結婚奨励策、出産応援策を進める。

【具体的な事業】

- ・ 0-14 歳児一貫子育て・教育
- ・ 子育て・教育施設集約化
- ・ 子育て応援環境整備
- ・ 結婚促進対策
- ・ 働く女性の出産支援
- ・ 妊娠・出産に対する支援 等

エ 乳幼児から高齢者まで安全で安心して暮らせるコンパクトなまち（コンパクトシティ）をつくる事業

特色ある魅力的な拠点の形成、市街地のコンパクト化と新たな交通ネットワーク形成、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを進める。

【具体的な事業】

- ・ 特色ある魅力的な交流拠点の整備
- ・ 快適かつ安全・安心して暮らせる機能・施設の整備
- ・ 住宅地の集約化
- ・ 市民の暮らしを支える移動システムの整備
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）の市民への普及啓発 等

※なお、詳細は第2期歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和7年3月改訂）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000 千円（2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度 9 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで